ピュジェト・サウンド大学フレンドシップ・プログラム参加者が本学を訪問しました。

5 月 16 日から 22 日まで、本学学術交流協定校であるピュジェットサウンド大学(アメリカ・ワシントン州タコマ)から、キャロル・マーツ同大学教育学部前学部長の引率により、学生 2 名が本学を訪問しました。

フレンドシップ・プログラム は、2012 年度で第 12 回目の実施になります。プログラムの目的は、日米の教員養成学部に学ぶ学生が相互に訪問し、小学校での授業実施、大学授業への参加、ホームステイ等を経験することを通して異文化への理解を深め、国際化により柔軟に対応できる資質の育成をすることです。

鳴門滞在期間中、学生(モリー・ギブソン、エミリー・エーリック)は、5 月 18 日には徳島市立大松小学校で英語活動の授業を行い、5 月 22 日は本学大学院授業(環境教育特論、日本語教育方法学)にも参加し、日本人学生と交流しました。週末には、学生宅にホームステイをして学生との親睦を深めたほか、1 番札所から 2 番札所まで遍路を体験するなど、鳴門ならではの貴重な経験と多くの思い出を作り、鳴門を後にしました。今年の秋には、本学学生がピュジェット・サウンド大学を訪問する予定です。

(文責　言語系コース　小野由美子)

エミリー@大松小学校

モリー@大松小学校

「日本の教育と文化」に飛び入り
折り紙で手裏剣や兜を作りました。

「コレハ　イクラデスカ？」
日本語教育分野の学生によるレッスン